

第1448回例会



ロータリーの
マジック

- 会 長：井上誠士 ■幹 事：河田明成
- 会報 IT 委員会：守屋 護(委員長)、森下新一(副委員長)、遠藤秀幸、齋藤紀美孝、関根正司、伊藤信吾
- 例会場：中国名菜 敦煌(相模原市中央区相模原2丁目13番1号)
- 例会日：毎週金曜日 ■事務局：相模原市中央区中央3-7-9 リトルウッズ中央301
- T E L：042(714)1111 ■F A X：042(714)1111
- E - m a i l：info@greenrotary.jp ■http://www.greenrotary.jp

DATE : 04. 04. Fri

本日のプログラム

「家族卓話」 犬飼 響様(犬飼久恵会員ご子息)
4月のお祝い / 定例理事会

DATE : 04. 12. Sat

次週予告

第5グループ「IM」 ホストクラブ：津久井中央 RC
会場：杜のホールはしもと 開始：13時30分

□前回のプログラム／第1447回 令和7年3月21日(金)
点鐘 12:30 例会場：中国名菜 敦煌3階
斉唱「それでこそロータリー」「花」
ソングリーダー 山本正司君
ピアノ奏者 田中知子さん

□出席表

会員	出席対象者	出席者	出席率	前々回修正率
45名	44名	20名	51.11%	68.89%

事前 MU 関根、高橋三叔
事後 MU 中村、山本

□ゲストスピーカー 株式会社 LIXIL 営業本部神奈川支社
担当部長 中島克之様
神奈川第4営業所 小島悠揮様

幹事報告 河田明成幹事

- 先月のお弁当廃棄数ですが0です。
2月7日、2月14日ともに28個注文して31人が出席。
急遽、敦煌さんに3個追加しました。
田部井さん、李さん、いつも迅速な対応をありがとうございます。
- 5月10日、土曜、藤沢にて次年度幹事研修があります。副幹事の李さん、ご出席をお願いします。
私も去年出席しましたが、内容は全く覚えていません。
今年も良いお話が聞けるとおもいます。

会長報告

井上誠士

3月は、ロータリー特別月間の「水と衛生月間」ですので、LIXIL様をお呼びし水と衛生について、企業の取り組みと世界のトイレ事情の卓話を頂きます。よろしくお願ひいたします。

さて3月21日は何の日です

●アジフライの日

庶民の味としてみんなに愛されるアジフライの美味しさを、より多くの人に知ってもらうために制定された日。アジ=鯔=魚編に参(3)、「フ(2)ライ(1)」の語呂合わせから。

●カラー映画の日

1951年(昭和26年)3月21日に、初めて国産の総カラー映画が公開されたことから。
松竹30周年記念映画【カルメン故郷に帰る】

●国際人種差別撤廃デー

人種差別の撤廃のために制定された国際デー。1960年3月21日に南アフリカで起こった人種隔離政策へのデモをきっかけに、国連が人種差別撤廃に取り組むことになったことから。

●世界ダウン症の日

ダウン症についての知識を啓発し、ダウン症がある人がより暮らしやすい社会を実現することを目指して制定された日。

●日南一本釣りがかつおの日

宮崎県日南市のかつお一本釣り漁業の認知拡大とかつおの販売促進のために制定された日。3月に日南市で初かつおが最盛期を迎えること、「に(2)ちなん」「一(1)本釣りがかつお」の語呂合わせから。

●はじめようの日

春の季節に何か新しいことを始める人を応援するために制定された日。カウントダウンの「3、2、1」から。

●ランドセルの日

小学校6年間の思い出が詰まったランドセルへの感謝の気持ちを表すために制定された日。卒業式シーズンであること、「3+2+1=6」となり「6年間ありがとう」の意味を込めて。

小学生と言えば、私はサッカーのコーチを10数年行っておりまして、今年卒業する6年生のコーチを行っていました。4年生のころから担当しており、ここでやっと卒団で一段落しました。6年生は、試合数が多く今年度は205試合を戦いました。新年度からもコーチは継続しますが、5年生と2年生を担当しますので、年間の試合数は約250試合程度になるとおもいます。引き続き、がんばります。

「トイレが世界を救う！」

日本が出来ること、私たちが出来ること

株式会社 LIXIL



株式会社 LIXIL 営業本部神奈川支社
担当部長 中島克之(写真左)

株式会社 LIXIL 営業本部神奈川支社
神奈川第 4 営業所 小島悠揮(写真右)

みなさん、LIXIL という会社を知っていますか？
LIXIL は、皆様のお家にある、窓や玄関、トイレやお風呂やキッチン、毎日の生活に関わる色々な商品を作って売っています。私たちの作っているものの中で、今日は「水と衛生月間」という事なので特にトイレのことについてお話しをしたいと思います。



実は日本はトイレ先進国なのです。大きな理由としては上下水道がきちんと整備されていることがあります。川やダム湖の水を浄水場できれいに処理して私たちの生活で使って、その使われた水は下水処理場で殺菌などされてきれいに川に戻ります。この仕組みがあるから、私たちは普段当たり前のように水洗トイレを使うことが出来るのです。

水道の水源は地表水 75%(河川 25%、ダム湖 47%、湖沼)、地下水 20%(井戸水)

また、日本ではトイレ自体の機能も多様です。これまでに便座を温める機能や、シャワートイレのようにお尻を洗う機能、また、少ない水で流せるように節水にも取り組んだり、世界的に見てもとても進んでいます。こんなに進化してきたトイレですが、次はトイレの歴史を振り返ってみましょう。日本のトイレの起源は縄文時代にさかのぼるのですが、江戸時代のお殿様がいた時代には、日本のトイレの環境はずいぶん整備されていました。江戸時代の人は排泄物をトイレの下に溜めていました。それが溜まったら、汲み取っていました。このくみ取り式のトイレですが、くみとった排泄物はそのまま捨てるのではなく、きちんと処理をしたあとに作物を育てる肥料として使われていました。これにより、また食べ物ができる、その作物を食べて排泄してと江戸時代

には無駄のないトイレのサイクルがあったのです。トイレ先進国の始まりです。江戸時代は紙や着物なども捨てずに最後まで使い切っていたことで、「究極のリサイクル社会」とも言われています。明治時代以降に次第に、現在のような下水道、水洗トイレが発達していきます。



一方、世界では古代ローマ時代。今から 3000 年以上前、日本では縄文時代の頃です。この頃ローマでは公衆トイレというものがああり、流れる水を利用して処分していました。その後、中世になるとヨーロッパの人は家にある「おまる」でトイレをしていました。しかし、その「おまる」に入っている排泄物を窓から捨てていました。捨てられた排泄物が道路に積もり、これが原因による伝染病などが広まっていた。ちょっと考えられないような状況ですね。こういった状況からも江戸時代のトイレがとても衛生的だったことが分かったでしょうか？

実は、現在私たちの身の回りにあるものの中には、この時代に窓から降ってきたり、道路につもったりしている排泄物をよけるために作られたと言われているものがあります。それはハイヒールです。日傘やカフェのオーニングなども、排泄物をよけるためによく使われていました。その後、こうした状況もしいに改善され、現在では海外の様々な国でも下水道やトイレが整備をされていきました。

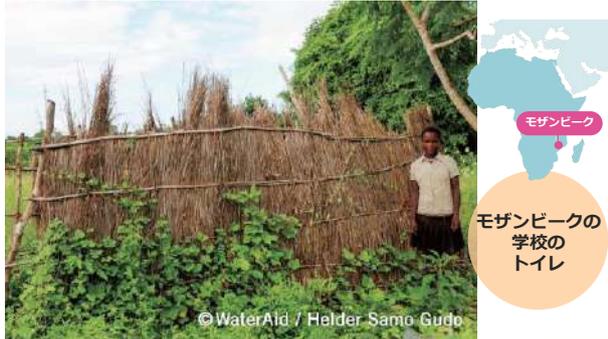
トイレにはこのような歴史があるのですが、現在では世界のトイレはきれいになったのでしょうか？実はそんなことはありません。下記の写真は世界で実際に使用されているトイレです。

ケニアの貧しい人たちが暮らす地域の学校のトイレ



安全に管理されたトイレを日常的に使用できない人は、世界にどれくらいいるのでしょうか？

アフリカのモザンビークの学校のトイレ、学校で唯一の男子、女子兼用のトイレ



5人に2人の35億人です。大体5人に2人の人がトイレをつかえないと考えてみてください。ではそのうち、トイレがなく道端や草むらなど屋外で用を足して生活する人はどれくらいいると思いますか？それは4億人です。なんと、日本人の人口の3倍以上もいるんですね。

どんな問題があるの？

1日 1000人

清潔(せいけつ)なトイレや安全な飲み水、手洗い習慣がないことで5歳未満のこどもが1日に命を落としてしまう人数



こういったことが原因で、小さい子どもは下痢になってしまいます。その結果、命を落としてしまう5歳未満のこどもの数は1日700人以上いるのです。



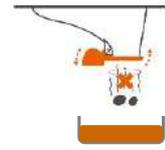
深刻な問題

- ・家から離れた草むらにトイレに行くところ
- ・足場が悪くトイレに落ちてしまったり、夜トイレに行く途中で動物に襲われたりするところもある

世界にはこのような深刻な問題がありますが、私たちはトイレの本来の姿をこのように考えています。安全で衛生的(衛生的とは健康を守って病気を予防するのに適している清潔なさま。)に、うんちやおしっこができる場所。とてもシンプルですね。私達、日本人からすると当たり前のことですが、私たちはトイレをつくる企業として世界の人に安全で衛生的なトイレを使ってもらえるようになってほしいと願っています。そこで、私たちは「Safe Toilet」(セーフ トイレット)というトイレを開発しました。

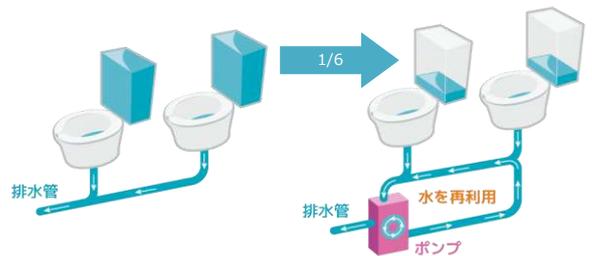


セーフ トイレット
『Safe Toilet』



少ない水の量でフタが自動的に下がり排泄物を流すことができます。そしてここにあるフタで虫が入るのを防いだり、病気の伝染を防いだり、悪臭も防ぎます。ちなみに(排泄物が)たまっていっぱいになったら後は埋め立てます。穴をほっただけですが、安くて簡単に設置ができるので電気や上下水道のないような地域でのトイレ環境の改善としてはとても有効です。このトイレの設置により屋外で用を足していた多くの人々がトイレを使う習慣ができました。病気などを防ぐためにとっても大事なことは「適切な場所でトイレをする習慣をつけること」です。また、ただキレイなトイレを作ってもその後、それをキレイに保つ人がいないと結局は汚れてしまい、もとのトイレのようになってしまいます。そのため、単にトイレを作るだけでなく、このトイレを使う子どもたちへの衛生教育やトイレの使用方法的な教育も行いました。ただ、ケニアの都市部でも、急な人口の増加により上下水道の整備が追いついていません。

超節水型トイレシステムの開発



私たちは今まで培ってきた技術をいかし、少ない水でトイレを流せるよう開発に取り組みました。こちらは古いトイレに比べて、流す量が約6分の1となる超節水型のトイレシステムです。水を少なくするとつまりやすくなってしまいますが、流した水を再利用してポンプで循環させることで、その心配も解消されました。水資源の少ない地域において、このトイレを広めることは、大変有効です。

2025年までに1億人の人々の衛生環境を改善し、生活の質の向上につなげます

私達 LIXILでは 2025年までに1億人の人々の衛生環境を改善し、生活の質の向上につなげることが目標です。世界では、トイレの問題が命や貧困に直結します。私たちはトイレをつくる企業として自分たちにできることを実践し、貢献をしています。トイレの問題は命や貧困の問題に直結します。この問題を解決するためには、世界の人々が協力をすることが大切です。

委員会報告

§ 親睦委員会 高橋和也委員長

5/16(金)「相撲観戦日帰りツアー」に現在 25 名のご出席希望を頂いておりますが、30 名まで募集していますので、ご家族お誘いあわせの上、是非、御参加下さい。予定では 11 時に橋本駅出発、11 時 10 分に相模原市役所前、12 時頃にスカイツリー、15 時から両国国技館で相撲観戦をして、18 時頃にちゃんこ霧島両国本店、21 時頃に相模原へ帰ってくる予定です。途中でパーキングに寄る予定も入っていますのでご安心ください。また、伊藤さんの本を購入しました！面白いので是非皆様も楽しみにして下さい。



株式会社 LIXIL の中島克之様、小島悠揮様、お忙しい中、ありがとうございました。



§ 4/24(木)四金会について 会場監督 八木美左男
元気ですか！私からは 4/24(木)に敦煌で行われる志村さんの歓迎会「四金会」のお知らせです。是非多くの皆様のご出席をよろしくお願い致します。当日は別室を借用してクラブソングの MV 撮影も行う予定です。欠席されますと、私と会長、幹事で会社またはご自宅へご訪問させていただく事になりますので、よろしくお願い致します。また B、D 地区合同家庭集会在、5/9(金)に喰処で開催されます。当日はなかなか例会へ来れない恩田さんもお出席されますので、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

<家庭集会の日程> (対象者：敬称略)

●5/8 (木) C グループ

高橋和也、犬飼、井上誠士、大澤、佐藤眞一、野田林田、森下、守屋、李

●5/9 (金) B・D グループ

八木、池田、今井、大貫、小川、尾畑、高橋正之、原福山、矢越、山本

神座、足立、伊藤、井上栄次、遠藤、恩田、河田齊藤、澁谷、清水、長谷川、吉田

●5/15 (木) A グループ

高橋三叔、金子、川崎、北畠、久野、佐藤眞吾、関根田中、中村、村田、山口、志村

※どの家庭集會も他グループからの御参加も OK です！！例会場に出席表がありますのでご記入ください。例会に欠席の方でご参加の方は直接各リーダー（青字）へご連絡下さい。

キーマンに聞きました!
相模原納涼花火大会実行委員会 実行委員長 久野新一さん

花火を通じた新たな挑戦で地元を盛り上げる
昭和 26 年 (1951)、水郷田名の戦後復興を願って始まった花火大会を取りまとめているのが、委員長の久野新一さん。久野さんは地元出身で、幼少期から毎年欠かさずこの花火を観てきた。20 年前に実行委員となり、やがて委員長に就くと、新たな取り組みを次々と実施。その一つが、花火と音楽のコラボレーションだ。久野さんは全国の花火大会で受賞するほどの花火師に惚れ、5 年かけて口説いた。会場は原原で電気すら通っていないが、実現可能な手段を模索し、諦めることなく準備を進めていった。迎えた本番では、コンサート会場さながらのスピ

ーカーを設置。大空に打ち上がる花火と河川に響き渡る音楽のコラボレーションは圧巻で、来場者からも大好評だった。また、打ち上げ時間が 90 分と長く、その間アナウンスがなく花火が打ち上がり続けることも大会の特徴。「花火にストーリー性を出したい。来場者が現実に戻されないようにしたい」と久野さんが考案し始めた取り組みだ。通常花火の合間に行うスパー紹介は、会場内に設置したビジョンに投影。スポンサー、来場者双方から好評だという。久野さんの根底にある「相模原をもっと元気にしたい。欠かさず行きたいと

思えるイベントにしたい」という想いが、水郷田名の夏の夜空に打ち上がる。

相模原納涼花火大会 ※ 非公認 ※ 公式サイトで確認を ◎ 相模原高田橋上流 ◎ JR 相模原駅から神奈川バス水郷田名行きで 30 分、終点下車、徒歩 5 分 ◎ 見学無料、有料エリアあり ◎ 8 月下旬 19 時～20 時 30 分 (花火打ち上げ) ◎ 3000 台 ◎ 別冊 P11D3

打ち上げ数は約 1 万発。打ち上げ場所と観覧席の距離はわずか 120m で、真夜中で花火師が見えるほど久野さんは 35 名の実行委員を率いる。花火大会の準備にかかる期間は 10 ヵ月

「まちという 神奈川」
(全 33 市町村を徹底ガイド) へ久野新一会員が地元を盛り上げる人材として掲載されています。